

第 40 回交通工学研究発表会 オンライン開催のお知らせ

第 40 回交通工学研究発表会の発表申込につきましては、各分野の研究者・実務者から今年も多くの論文の投稿を頂きありがとうございました。

今年は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として参加者が集まって行う発表会開催を断念し、オンライン形式で開催することとしました。オンライン形式での開催でも多数のご聴講と活発なご意見の交換の場となるよう皆様のご参加をお待ちしております。初めての試みとなり、行き届かない点も多々あるかと思いますが、何卒ご支援、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

● 第 40 回交通工学研究発表会

1. 主 催 : 一般社団法人 交通工学研究会
2. 開 催 日 : 2020 年 9 月 7 日(月)～ 8 日(火)
3. 開催形式 : Zoom を使ったオンライン形式
4. プログラム : 当会ウェブページでご確認ください(8 月上旬公表予定)。
5. 参加費 : 発表者、聴講者 共通 (論文集(CD-ROM)代、消費税を含む)
正会員 : 8,250 円、特別会員 : 10,450 円、学生会員 : 3,850 円、非会員 : 15,400 円

◆オンライン形式開催に際してのご案内◆

参加の皆さまへ

- ・第 40 回交通工学研究発表会論文集(CD-ROM)を発刊します。(参加登録者へ後日郵送します。)
- ・参加登録された方にはオンライン会場へのアクセス URL とパスワード、参加者へのお願い事項や論文集閲覧方法等を後日メールでご案内します。
- ・デモンストレーション展示および交通工学研究発表会懇親会は中止とします。
- ・会社や自宅などから参加頂くことを想定しておりますが、適当な参加場所の確保が難しい方は事務局までメールでご相談下さい。

発表者の皆さまへ

- ・発表は事前に動画を作成していただき投稿していただきます。質疑は Zoom を用いてリアルタイムで行います。
- ・動画の投稿方法や発表の方法は、発表申込時に登録された連絡先メールアドレスあてにご案内します。
- ・この研究発表会で発表を行うと、2021 年刊行のオンラインジャーナル「交通工学論文集(特集号)第 7 巻」への投稿資格を得ることができます。
- ・45 歳以下(2020 年 4 月 1 日現在)の発表者による優れた論文発表に対して「研究奨励賞」を、交通安全に寄与する優れた論文発表に対して「安全の泉賞」を、それぞれ贈呈いたします。ただし、両賞ともに投稿時の発表予定者による発表ならびに質疑がなされなかった場合には対象となりません。

参加登録方法について◆

当会ウェブページ(<http://www.jste.or.jp/Event/index.html>)より、

第 40 回交通工学研究発表会参加申込フォームよりお申込みください。

本研究発表会に参加するには、参加登録が必要となりますので、事前に参加登録をお済ませください。

申込みフォームから参加者情報の送信、参加費納入の両方の手続きが済むと、参加登録が完了となります。

申 込 期 間 : 2020 年 7 月 28 日(火)～2020 年 8 月 24 日(月)

参加費納入期限: 2020 年 8 月 24 日(月)

参加登録が完了した方には、オンライン会場へのアクセス方法や論文集閲覧方法等の案内をメールでお知らせします(開催日の 1 週間程前を予定)。

論文集 CD-ROM は申込フォームでご登録いただいた住所宛てに後日郵送いたします。

キャンセルに伴う返金は、2020 年 8 月 31 日(月)までのお申し出に限り対応します。

参加申込み・参加費納入に関するお問合せ: 一般社団法人交通工学研究会 受付事務局
〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル (株)毎日学術フォーラム内
TEL: 03-6267-4550 FAX:03-6267-4555 MAIL: maf-jste@mynavi.jp

その他のお問合せは、MAIL: event-a@jste.or.jp までお願いします。



一般社団法人 交通工学研究会

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-23 錦町 MKビル 5 階

※開催に関する緊急の連絡は <http://www.jste.or.jp/> の新着情報欄にてお知らせいたします。

第40回交通工学研究発表会 第1日目【2020年9月7日(月)】プログラム

発表12分、質疑11分 ○は発表者

《第1会場》

1. 歩行者交通 座長：山中 英生(徳島大学) 副座長：松井 祐樹(㈱オリエンタルコンサルタンツ)			
10:00	1	子供の歩行中の交通事故と交通行動の関係性に関する一考察	○宮崎 耕輔 松尾 幸二郎 香川高等専門学校 豊橋技術科学大学
10:25	2	二段階横断施設における乱横断歩動に関する分析	○足立 国大 鈴木 弘司 岡田 悠希 伊藤 大貴 名古屋工業大学 名古屋工業大学 豊精密工業㈱ 名古屋工業大学
10:50	3	生活道路単路部での歩行位置が自動車に追い越される際の危険性認知に与える影響の検討	○長谷川 裕修 堀井 蓮花 葛西 誠 田村 亨 秋田工業高等専門学校 元：秋田工業高等専門学校 秋田工業高等専門学校 北海道大学商学部
11:15			
11:25	4	視覚情報に基づいた指標による歩行空間構成要素の知覚および評価に関する基礎的分析	○轟 直希 柳沢 吉保 岩崎 真哉 西川 嘉雄 高山 純一 長野工業高等専門学校 長野工業高等専門学校 長野工業高等専門学校 金沢大学
11:50	5	眼球角度の時間推移が空間認知機能に与える影響分析	○林 信吾 白柳 洋俊 倉内 俊哉 吉井 稔雄 愛媛大学 愛媛大学 愛媛大学 愛媛大学
12:15	6	対人安全性と利用者快適性を考慮した「盲導ポット犬」の歩動制御	○吉川 令 内田 敬 松本 浩子 大阪市立大学 大阪市立大学 大阪市立大学
12:40	7	鉄道駅二人乗りエスカレーターの歩行率に関する基礎研究	○元田 良孝 宇佐美 誠史 岩手県立大学 岩手県立大学
13:05			

2. 自転車交通 座長：小林 寛(国土技術政策総合研究所) 副座長：梶田 佳孝(東海大学)			
14:00	8	心理的リアクティクスに着目した自転車安全利用に関する情報提供の効果：高校生・大学生を対象として	○服部 直樹 大森 宣暁 長田 哲平 早稲田大学 宇都宮大学 宇都宮大学
14:25	9	高校生の交通安全教育の実践と自転車交通安全意識に関する研究	○森田 哲夫 小林 光希 塚田 伸也 松田 拓也 前橋工科大学 埼玉県 前橋市 藤岡市
14:50	10	自転車通行方向整序化に向けた科学的エビデンスの訴求力の検証	○尾野 薫 中川 誠一郎 横尾 果歩 山中 英生 宮崎大学 ㈱大本組 徳島大学 徳島大学
15:15	11	幼児二人同乗用自転車における思考発話法による交通安全効果に関する研究	○松村 暢彦 毛利 彩希 吉田 長裕 愛媛大学 ㈱ホーネット 大阪市立大学
15:40			
15:50	12	坂路で発生した自転車事故の分析 (実務論文)	○萩田 賢司 横関 俊也 科学警察研究所 科学警察研究所
16:15	13	自転車を追い越す自動車の走行挙動に着目した車道混在型道路の検討	○辰巳 浩 吉城 秀治 堤 香代子 木佐貴 潤也 水尻 翼 福岡大学 福岡大学 福岡大学 鹿児島県庁 広島市役所
16:40	14	車道走行する自転車が自動車の走行挙動に及ぼす影響に関する研究—道路構造の違いに着目して—	○松本 太郎 辰巳 浩 吉城 秀治 堤 香代子 半田 隆太 水尻 翼 福岡大学 福岡大学 福岡大学 福岡大学 元：福岡大学 広島市役所
17:05	15	同調効果を用いた自転車の車道通行率の向上策の検討	○坪井 志朗 三村 泰広 嶋田 喜昭 菅野 甲明 出口 智也 豊田都市交通研究所 豊田都市交通研究所 大同大学 大同大学 大同大学
17:30			

《第2会場》

5. 交通データの応用(1) 座長：藤田 素弘(名古屋工業大学) 副座長：加藤 昌樹(一財)計量計画研究所)			
	31	トラフィックカウンタデータを用いた交通流イメージ動画の制作と類型化	○永見 豊 堀江 晃平 中川 浩 拓殖大学 拓殖大学(現：アマノ)㈱ 東日本高速道路㈱ (現：㈱ネクスコ東日本エンジニアリング)
	32	白線検知による走行車線判定を活用した織込み区間の対策効果検証 (実務論文)	○川松 祐太 田畑 大 中 淳 藤井 駿 前川 友宏 首都高速道路㈱ 首都高速道路㈱ ㈱オリエンタルコンサルタンツ ㈱オリエンタルコンサルタンツ ㈱地域未来研究所
	33	レーダ降雨強度を用いた首都高速道路の速度分布特性に関する基礎分析	○服部 充宏 福村 肇 大口 敬 日比野 直彦 森地 茂 (一財)日本気象協会 政策研究大学院大学 東京大学 政策研究大学院大学 政策研究大学院大学
	34	Wi-Fiネットワークセンサーデータを活用したラゲビワールドカップ2019における混雑対策の効果検証 (実務論文)	○小林 圭 中村 俊之 伊藤 大貴 林 健太郎 ㈱長大 名古屋大学 ㈱長大 ㈱長大
	35	路側に設置した簡易撮影機器の動画による交通量自動計測に関する基礎的研究	○菅原 宏明 小篠 耕平 藤井 純一郎 大久保 順一 小早川 悟 八千代エンジニアリング㈱ 八千代エンジニアリング㈱ 八千代エンジニアリング㈱ 八千代エンジニアリング㈱ 日本大学
	36	複数地点の受動赤外線自動計測器を用いた中心市街地における歩行者・自転車通行量の変動に関する研究 (実務論文)	○我妻 智世 長田 哲平 大森 宣暁 古池 弘隆 宇都宮大学 宇都宮大学 宇都宮大学 宇都宮大学 宇都宮共和大学
	37	スマートフォンデータと深層学習理論を用いた歩行者行動解析	○佐々木 楽 柳沼 秀樹 寺部 慎太郎 田中 皓介 京都大学 東京理科大学 東京理科大学 東京理科大学

6. 交通データの応用(2) 座長：中村 英樹(名古屋大学) 副座長：邢 健(㈱高速道路総合技術研究所)			
	38	画像センシングにより生成された車両軌跡データの適用可能性に関する検討	○井垣 貴弘 内田 敬 西日本高速道路㈱ 大阪市立大学
	39	プローブデータとミコ交通流シミュレーションを連携活用した信号現示改良施策の効果予測と事後検証 (実務論文)	○阿部 和規 藤井 秀樹 吉村 忍 田淵 健太 妹尾 俊彦 東京大学 東京大学 東京大学 岡山県警察本部 岡山県警察本部
	40	プローブ軌跡データによる災害時のリアルタイムな交通障害検出手法の構築	○川崎 洋輔 吉田 政範 梅田 祥吾 桑原 雅夫 飯星 明 東北大学 ススキ横濱研究所 東北大学 東北大学 本田技研工業㈱
	41	中央道集中工事における予測所要時間提供の取り組み (実務論文)	○佐藤 久長 西田 匡志 相原 秀多 山田 潤 杉野 勝敏 菅 芳樹 中日本高速道路㈱ 中日本高速道路㈱ 中日本ハイウェイエンジニアリング東京㈱ 中日本ハイウェイエンジニアリング東京㈱ ㈱地域未来研究所 ㈱地域未来研究所
	42	ETC2.0プローブ情報の挙動履歴による漫然運転事故発生要因分析 (実務論文)	○平田 篤嗣 佐藤 志帆 永井 基貴 春藤 康仁 西日本高速道路エンジニアリング四国㈱ 西日本高速道路エンジニアリング四国㈱ 西日本高速道路エンジニアリング四国㈱ 西日本高速道路エンジニアリング四国㈱
	43	ETC2.0プローブ情報による漫然運転事故対策の効果検証 (実務論文)	○佐藤 志帆 平田 篤嗣 永井 基貴 春藤 康仁 西日本高速道路エンジニアリング四国㈱ 西日本高速道路エンジニアリング四国㈱ 西日本高速道路エンジニアリング四国㈱ 西日本高速道路エンジニアリング四国㈱
	44	貨物車プローブデータを用いた休憩行動の分析とそのモデル化	○市川 晃己 佐野 可寸志 旭山 紀一郎 高橋 貴生 松田 曜子 長岡技術科学大学 長岡技術科学大学 長岡技術科学大学 長岡技術科学大学 長岡技術科学大学
	45	ランダムフォレストによるプローブカーデータからの旅行時間短期予測手法	○日下部 貴彦 Quan jun CHEN 柴崎 亮介 中川 浩 後藤 誠 東京大学 LocationMind㈱ 東京大学 ㈱ネクスコ東日本エンジニアリング 東日本高速道路㈱

《第3会場》

9. 運転者認知・挙動(1) 座長：田久保 宣晃(科学警察研究所) 副座長：橋本 成仁(岡山大学)			
	61	カウントダウンタイマー信号機における2台目車両の発進挙動の解析	○百目鬼 智輝 上村 奈菜 佐藤 史弥 松本 修一 文教大学 ㈱JR東日本情報システム 文教大学 文教大学
	62	先行車両の停止挙動に同調したカウントダウンタイマーの高度化に向けた基礎的研究	○佐藤 史弥 松本 内河 隆哉 元 文教大学 文教大学 東日本旅客鉄道㈱
	63	信号灯器の設置位置が右折挙動に及ぼす影響に関する研究	○大木 裕貴 柳原 正実 ○小根山 裕之 小田急電鉄㈱ 東京都立大学 東京都立大学
	64	視野を考慮した歩車混合交通モデルによる無信号交差点の危険性評価	○新屋敷 学 長谷川 裕修 ㈱構造計画研究所 秋田工業高等専門学校
	65	ヘッドマウントディスプレイを用いた高齢運転者の無信号交差点での空間認知に関する研究	○三村 泰広 樋口 恵一 中村 陸 戸村 良 吉田 慎治 楊 甲 安藤 良輔 (公財)豊田都市交通研究所 大同大学 大日本土木㈱ ㈱NeU ㈱NeU (公財)豊田都市交通研究所 (公財)豊田都市交通研究所
	66	路面標示による交差点事故対策が利用者挙動に与える短期的影響分析	○鈴木 弘司 加藤 真浩 ○伊藤 大貴 名古屋工業大学 JR東海コンサルタンツ㈱ 名古屋工業大学
	67	渋滞下の副次課題がドライバーの精神疲労・知覚時間・注意力に及ぼす影響	○松村 翼 鳩山 紀一郎 木村 大地 佐野 可寸志 Faniya SULTANOVA Valentina BARABANSHCHIKOVA 長岡技術科学大学 長岡技術科学大学 長岡技術科学大学 Lomonosov Moscow State University Lomonosov Moscow State University

10. 運転者認知・挙動(2) 座長：小根山 裕之(東京都立大学) 副座長：吉村 敏志(阪神高速道路㈱)			
	68	オブジェクティブ概念を適用した視線誘導による交通安全対策の基礎的検討	○宮地 隆介 赤羽 弘和 高角 岳彦 三嶋 博之 沢田 護 坂田 裕裕 畔田 雅裕 南部 繁樹 千葉工業大学 千葉工業大学 自動車評論家 早稲田大学 ㈱テック 西日本高速道路㈱ 西日本高速道路エンジニアリング九州㈱ ㈱ラフックプラス
	69	カラー連携標示および標識矢印レイアウト変更による運転者挙動への影響把握	○飯田 克弘 ○遠藤 貴樹 多田 昌裕 蓮花 一己 隆 大阪大学 中央復建コンサルタンツ㈱ 近畿大学 帝塚山大学 中日本高速道路㈱
	70	高速道路インターチェンジ出口部の誤進入対策におけるCG動画を用いた気づきやすさの評価 (実務論文)	○永見 豊 久保 慎佑 原田 秀一 青木 秀剛 拓殖大学 拓殖大学 ㈱ネクスコ東日本エンジニアリング ㈱ネクスコ東日本エンジニアリング
	71	インターチェンジランプ部における指向性スピーカーによる交通事故対策の効果検証 (実務論文)	○山本 隆 山本 浩司 中日本高速道路㈱ 中日本高速道路㈱
	72	トラックアードによるゾーン30標示が視認行動と車両速度に及ぼす影響に関する研究	○鈴木 美緒 富田 築 青木 徹也 川又 賢治 東海大学 千葉市役所 大和市役所 大和市役所
	73	案内情報を利用したドライバーの分岐点同定に関する実験	○外井 哲志 三原 康司 大塚 康司 大枝 良直 元 九州大学 九州電力㈱ ㈱建設技術研究所 九州大学
	74	深層学習を用いた高齢運転者の異常運転検知に関する研究	○宮内 弘太 高田 和幸 東京電機大学 東京電機大学
	75	Risk perception of distracted driving based on Structural Equation Model	○Yuyang ZHANG Seiji HASHIMOTO Okayama University Okayama University

《第4会場》

13. 交通行動分析 座長：辰巳 浩(福岡大学) 副座長：嶋田 喜昭(大同大学)			
	91	大規模な交通マネジメント試行時の交通状況と今後の渋滞対策に向けた検討 (実務論文)	○柏 祐樹 宗像 恵子 高橋 功 山口 大輔 大畑 長 ㈱オリエンタルコンサルタンツ 首都高速道路㈱ ㈱オリエンタルコンサルタンツ ㈱オリエンタルコンサルタンツ
	92	高速道路リニューアル工事における総合的道路交通施策の試行 (実務論文)	○澤田 英郎 ○奥野 裕司 藤井 博之 上田 博之 西日本高速道路エンジニアリング関西㈱ 西日本高速道路エンジニアリング関西㈱ 西日本高速道路エンジニアリング関西㈱ 西日本高速道路㈱
	93	グラフ埋め込み型次元削減技法を活用した目的地選択モデルの精度向上	○柳瀬 智也 柳瀬 秀樹 寺部 慎太郎 田中 皓介 京都大学 東京理科大学 東京理科大学 東京理科大学
	94	ライフステージ・時代・世代に着目した交通行動特性の変化に関する分析～東京都市圏の5時点PTデータを用いて～	○河上 翔太 杉田 浩 森尾 淳 森田 哲夫 (一財)計量計画研究所 (一財)計量計画研究所 (一財)計量計画研究所 前橋工科大学
	95	私的交通依存の観点から見たアジア途上国の大都市におけるトリップ特性に関する研究	○大瀬 隆敬 岡村 敏之 ㈱アルメックVPI/東洋大学 東洋大学
	96	移動時間短縮意向を用いた移動に対する認識の形成要因に関する研究	○若原 歩花 有吉 亮 中村 文彦 早内 玄 田中 伸治 三浦 詩乃 横浜国立大学 横浜国立大学 横浜国立大学 横浜国立大学 東京大学
	97	交通変数間の関係を反映した深層学習による地域の交通状態の短期的予測	○馬場 静羽 井上 亮 東北大学 東北大学

14. 公共交通 座長：溝上 章志(熊本大学) 副座長：神田 佑亮(呉工業高等専門学校)			
	98	集約交通ターミナルにおけるバス利用者にとっての待合空間の価値の推定 (実務論文)	○河内 朗 中島 廣長 藤井 久暢 田畑 至啓 松島 格也 ㈱長大 国土交通省近畿地方整備局兵庫国道事務所 国土交通省近畿地方整備局道路部 国土交通省近畿地方整備局兵庫国道事務所 京都大学
	99	公共交通の利用特性に着目した乗り換え抵抗に関する研究	○中村 佳太郎 森本 章倫 早稲田大学 早稲田大学
	100	高齢・過疎地域における交流促進効果を考慮したライドシェアの導入可能性	○荒木 正弘 鳩山 紀一郎 佐野 可寸志 高橋 貴生 長岡技術科学大学 長岡技術科学大学 長岡技術科学大学 長岡技術科学大学
	101	ライドシェアの利用が自家用車の保有意識に与える影響分析～ハイを対象として～	○Dang Chi Anh 橋本 成仁 岡山大学 岡山大学
	102	地方都市における定額制マルチモーダル型MaaSの需要調査～愛知県豊田市を事例として～ (実務論文)	○石井 真 西堀 泰英 (公財)豊田都市交通研究所 (公財)豊田都市交通研究所
	103	交通システム変更による生活関連施設へのアクセシビリティ変化に関する分析	○清原 慧 柳原 崇男 西日本高速道路エンジニアリング関西㈱ 近畿大学
	104	前橋市城南地区を事例とした地域内交通の導入経緯と市民参加 (実務論文)	○塚田 伸也 湯沢 昭 森田 哲夫 前橋市 前橋工科大学 前橋工科大学
	105	運転者ごとのサービス評価に基づいたタクシーの優良事業者等評価制度 (実務論文)	○猪井 博登 富山大学

